

## 第2章

# 浜松市の目指す教育

## 1 教育理念

- 未来創造への人づくり
- 市民協働による人づくり

本市では、未来を創っていく子供たちを、子供たちを取り巻く大人が力を合わせて育てていくことを教育理念としています。

## 2 目指す子供の姿

- 自分らしさを大切にする子供
- 夢と希望を持ち続ける子供
- これからの社会を生き抜くための資質・能力を育む子供

子供たちは、夢と希望を持つことにより、たとえ困難や苦勞を伴う課題であっても、逃げずに立ち向かったり、他者と協力したりしながら主体的に取り組むようになります。

また、成功や失敗体験を通してさまざまな資質・能力を身に付け、「さらに自分を向上させたい」、「他者や社会のために役立ちたい」といった新たな夢と希望を持つようになります。

こうして子供たちの心は次第に耕され、正しい判断力や価値観に基づいた自分らしさが磨かれていきます。

本市では、自分らしさを大切にしていくことが人としての根幹を育てていくことにつながると考えているため、特に「自分らしさを大切にする子供」を重視しています。

## 3 キャリア教育を核とした人づくりの推進

絶え間ない技術革新やグローバル化の進展により、社会構造は大きく、かつ急速に変化しています。このような社会の激しい変化にも柔軟に対応しながら、課題に主体的に向き合い、周りの人たちと関わりながら課題を解決していくことができる資質・能力を子供たちに育成することが求められています。

本市がキャリア教育を重点とした教育活動を展開する意義は、変化が激しく予測困難な時代であっても、将来に不安を感じることなく、夢と希望を持って自分らしく人生を歩んでいくことができる子供を育むところにあり、キャリア教育を通して自分や浜松の未来を創り出せる子供の育成を目指しています。

文部科学省では、キャリア教育を通して育てる力を「基礎的・汎用的能力」として表し、「人間関係形成・社会形成能力」、「自己理解・自己管理能力」、「課題対応能力」、「キャリアプランニング能力」の4つを示しています。各学校では、この4つを基にして、子供の実態を見直し、子供に育てたい力を明確にして、学校の教育活動全体を通して、意図的・計画的にキャリア教育を実践します。

子供たちは、学ぶことの意義や、今学んでいることと自分の将来や社会とのつながりを実感したとき、主体的に学びに向かうようになり、社会で活躍する大人の姿を将来の自分と重ね合わせることで、夢と希望を持つようになります。また、社会の中で自分の力を発揮することで資質・能力は磨かれ、それが周りの人に認められることによって、自分のよさを感じることができます。

子供に育てたい力は、さまざまな人との関わりの中でゆっくりと時間をかけて育まれていくものです。幼児期から大人までの学びのつながりを大切にしながら、その学校・地域ならではの「学びの素材」を生かした教育活動を推進し、園・学校、家庭、地域、行政が一体となって将来の浜松を担う子供たちを育てていきます。